

空 楽 々

く
ら
ら

2015
夏



2015 年度久美浜遊学旅行

2015年5月2日から4日までの三日間、空間演出デザインコース恒例の春イベントである「久美浜遊学旅行」が京丹後市久美浜町にある久美浜セミナーハウスで開催されました。



空と海と友人達と

とある教員が二人揃うと雨が降ると言う空デの伝説(?)があるため、今年も天気が大丈夫かと不安でしたが、久美浜での三日間では、二日目の夕方から三日目の朝にかけて雨が降っただけで大きな影響が無く、概ね天候に恵まれた三日間でした。

去年と同様に京都駅から貸切バスでの移動でしたが、去年はゴールデンウィークの日程のせいか、何度か渋滞に巻き込まれていましたが、今年はそれ程渋滞に巻き込まれずにスムーズに移動できました。

久美浜セミナーハウスへの到着後は、部屋割りと自己紹介が行われた後、恒例となった田村先生のレクチャー「久美浜での過ごし方」が行われました。

この久美浜遊学旅行は、学生・教員関係無く好きな事をしながら遊んで学ぶというのが主旨で、頭の中で考えるだけでなく、手を動かしてモノを作り、アウトプットを出すのが過ごし方ですが、遊学旅行に参加した当初の目的以外にもいろいろなことにチャレンジしながら、勿論、食事の準備や後片付けなどの作業もみんなで協力して行うことで三日間を有意義に過ごしました。

今年は「凧部」がメンバーの増強とともに凧自体も性能アップさせて去年のリベンジを果たしました。学生だけでなく上田先生と寺尾先生も入部し、見事に「K」「U」「D」「E」の四文字(＋タムパパ凧)を青空に舞わせることができました。(写真1)

また、田村先生が持ち来んだ UV レジンを使用して、海岸で拾った貝殻などを使ったアクセサリ作りにチャレンジする学生や、裏庭の木や海岸の漂着物を使ったオブジェを製作する学生なども。田村先生は流木で椅子を始めとして、様々なものを製作されていました。寺尾先生は何と欄間の修理に動んでいました。(写真2～5)

遊学旅行では例年製本のワークショップを行っていましたが、今回参加された学生は過去に遊学旅行に参加していた方が多く、製本ワークショップの経験があるとのこと、例年のような大規模なものではありませんでしたが、製本にトライする学生もいました。遊学旅行中の写真で写真集を作ることにトライしていたのですが、途中でプリンタのインクが切れてしまったのが残念でした。

二日目の夜には、これも恒例となった卓球大会「2015 空デ杯」が行われました。今年は抽選によって決まったペアによるダブルスのトーナメントとなり、優勝を目指して各ペアが競い合った結果、西川さんと沖さんの 2013 年度生ペアが見事優勝しました。二人には田村先生から、先生お手製のトロフィーが贈呈されました。西川さんは去年もダブルスのトーナメントで優勝しており、二年連続で栄冠を獲得しました。(写真6～8)

最終日には川合先生主催の空デ遊学句会が開催されるとともに、句会に引き続いて遊学旅行での各自の成果報告へと移行しました。(写真9～10) 句会では、学生、教員の作品の中から姜さんの俳句が選ばれ、田村先生の点描画(額縁は寺尾先生の手製)や川合先生からの俳句の本(空デオリジナルブックカバー付き)などが贈られました。

ところで、例年、給湯絡みのトラブルに見舞われていましたが、今年はボイラーの修理・点検が完了して万全な状況とのことでしたが、初日の夜にポンプの故障が原因で、セミナーハウス全体が断水となる過去最大のトラブルが発生しました。二日目の昼間に復旧して事無きを得ましたが、一時はセミナーハウスの管理人さんに給水をお願いして、汲み置きの水を使う状況となりました。そんなトラブルも思い出となった今年の遊学旅行でした。



食べて飲んで語らって

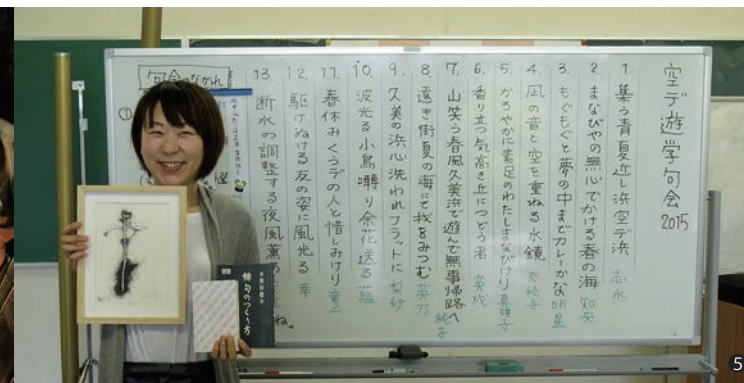
遊学旅行の楽しみは皆でいろいろな会話を楽しみながら味わう食事の時間ではないでしょうか。そのために今年も料理長の上田先生が予算を考慮しながら、美味しい献立を考えてくれました。

今年は、以前空デのコース業務を担当されていた中野さんや松尾さんらのスタッフが多数参加していたため、上田先生のサポートとして食事の準備や後片付けをされていたので、学生たち（上田先生以外の教員も？）は自分たちの作業に集中出来たようです。

初日の夜のバーベキューが行われ（写真1）、二日目は、遊学旅行では「ピザ主任」と言われている白井さん（写真2）が準備した三種類のピザ生地（「ためしてガッテン」レシピ、ケンタロウのレシピ、クイックパッドのレシピ）を元に、白井さんやスタッフたちがピザ生地をこねて伸ばして具材をトッピングし、それを「ピザ窯のおじさん」（寺尾先生：写真3）が焼き上げて皆に振る舞いました。

また、二日目の昼には初日から仕込みが行われていた上田先生特製のカレーが振る舞われました。今年は、本場インドから届いたスパイス特製を使用した本格的なもので、みんなでその味を堪能しました。（写真4）

去年までは最終日のお昼はセミナーハウスから徒歩15分ほどの「風蘭の里」でのお蕎麦でしたが、今年は全食自炊となりました。そのせいか、上田先生は久美浜滞在中にはほとんど写真を撮られていなかったとのこと。三日間の美味しい料理をありがとうございました。



5：第三回空デ遊学句会の勝者の姜さん。笑顔で記念撮影です
6：セミナーハウス入口前の裏庭には流木での KUDE の文字!!



Yチェアを説明中の田村先生



カレーを投入する上田先生



空デ在校生・学習会報告 — 空デ京都外苑おもてなし学習会

本学では、学生が集まって自主的に行う勉強会などを総称して「学習会」と呼んでいます。
(学習ガイド・191 ページより)

テキスト課題と一緒に取り組むだけでなく、例えば洋画コースではデッサン会など、それぞれの所属するコースの特色を出しながら、学生自らが、それぞれの責任と分担を持ちながら学習会を運営しています。

それらの学習会の中で空間演出デザインコース生が精力的に学習会活動を展開しているのが「空デ京都外苑おもてなし学習会」です。「空デ京都外苑おもてなし学習会」は 2013 年度生を中心としてスタートした学習会です。

当初は、外部 SNS を利用して入学初年度の 2013 年からスクーリングで知り合った友人たちとの交流を行う中で、有志で 美術館や個展鑑賞、ウェブカメラによる勉強会（時には飲み会）などを行っていたそうですが、2013 年度以外の在学生、そして卒業生、休学生の方々も巻き込んだ形へと変化してきたため、昨年 2014 年に、その活動を学習会へとステップアップさせたとのことです。今年に入ってから学習会への教員派遣制度を活用した活動もされています。

本号では、それらの学習会活動の中から、二つの学習会、金沢 21 世紀美術館とのコラボレーション企画となった学習会と鳥取県での学習会の模様をお伝えします。

過酷な通信大学生活を仲間同士で支え合う事を目的として発足したとのことですが、「空間演出」という領域を様々なアプローチから体感・実行し、学ぼうとしている学習会になっています。直近は 7 月に滋賀県での学習会（美術館ツアーとワークショップ予定／募集締め切り済み）を開催予定していますが、それ以降の 8 月、9 月も学習会を予定しています。今後の学習会開催予定を airU 内に告知されているとのことです。興味のある方は一度覗いてみてはいかがでしょうか。（「空デおもてなし学習会」コミュニティに申請していただければ閲覧可能とのことです）

金沢 21 世紀美術館 好奇心のあじわい 好奇心のミュージアム ワークショップ in 京都造形芸術大学 通信教育部 空間演出デザインコース

★主催★
金沢 21 世紀美術館

★監修★
フードクリエイション

★協力★
空間演出デザインコース研究室

★主管★
空デ京都外苑おもてなし学習会

★場所★
京都造形芸術大学
天心館アネックス 2 階 A21/A22

★当日の流れ★
諏訪綾子さんによる講話（写真 1）
food creation の活動やコンセプトをサイトの画像等をみながら
<http://www.foodcreation.jp/sp/ja>

大学構内・周辺にてテイストハンティング（写真 2）

ハンティングしてきたものを並べて、皆でどんな好奇心で集めたのか共有。そして想像であじわってみる（実際にあじわう人も）（写真 3）

ワークショップ：「悲しみのスープ」作成
一人一人小瓶に、それぞれの悲しみのテイストをつめる（写真 4、5）

諏訪綾子さんによる講評

★参加者★
諏訪綾子さん（フードアーティスト）
古井真也さん（フードクリエイション）
高橋律子さん（21 美キュレーター）

教員：田村先生、寺尾先生、宮地先生、濱田先生
参加者：学生 20 名（写真 6）

※記事・写真は水野順子さん（2013 年度生）にご協力いただきました。ありがとうございます。
※本学習会は金沢 21 世紀美術館発行の記録集に記載されています



諏訪 綾子さん（フードアーティスト・food creation 主宰）

1976 年 石川県生まれ。金沢美術工芸大学卒業後、2006 年より food creation の活動を開始、主宰を務める。

2008 年金沢 21 世紀美術館で初の個展と同時期に開催された伊勢丹新宿本店のパフォーマンスにより、食とアートの各領域から高い評価を得て、現在までにシンガポール・パリ・ベルリン・香港・福岡・東京など、国内外でパフォーマンス「ゲリラレストラン」を開催された。

人間の本能的な欲望、好奇心、進化をテーマにした食の表現を行い、美食でもグルメでもない、栄養源でもエネルギー源でもない新たな食の価値を提案している。

（プロフィールは <http://www.foodcreation.jp/sp/ja/profile/> を参考とさせていただきました）

鳥取砂丘で UEDA-CHO 撮影会

2015 年度最初の学習会は、2015 年 4 月 25 日(土)～26 日(日)の日程で、鳥取県で開催されました。



上：美術館と上田先生。建物を製図課題にしたいとなったとか ...
中：大山の見ながら男子三人何を語る？
下：美術館前で集合写真の準備中です

この学習会は、当初は鳥取県西伯郡にある植田正治写真美術館（冬期は閉館）を訪問することが目的でしたが、同じ鳥取県内にある鳥取砂丘でも写真撮影・作品づくりにチャレンジしてみようということになり、初日に植田正治写真美術館を見学した後、鳥取市へ移動し、翌日に鳥取砂丘での撮影となりました。

学習会に先立ち、参加者が事前学習として、植田正治について理解を深めるとともに、植田正治の作品に見られるシュルレアリスムとの関連性について在校生が連載コラムを開催日まで SNS で提供してくれたことで、写真という枠にとらわれない、幅広い視点を心得る事ができました。

初日の午後に植田正治写真美術館へ参加者（学習会メン

バーの在校生、卒業生、そして教員含めて 12 名）が集合し、美術館前に広がる大山を眺めてから館内へ。

この二日間は天候に恵まれ、大山は雲一つない雄大な姿をみせてくれました。

この美術館の設計は建築家・高松伸。高松伸の事務所サイトによると、植田正治が、この美術館と自らの作品「少女四態」との共通性にいたく喜んだとのこと。

また、ここは昨年度まで写真コースのスクーリング開催地となっていることから、上田先生が昨年度まで通信写真コース教員だった田中先生へ事前に訪問することを話していたおかげか、学芸員の方から当初の予定時間のオーバーするほど、各作品とその背景について丁寧に解



上二枚：鳥取砂丘のスケール感に圧倒されながら日の出を迎えました
下二枚：お互いに指示をしながら撮影をしています

説いただきました。また、映像展示室は部屋全体がカメラ・オブスキュラとなっており、最大直径 600mm という世界最大規模のカメラレンズを介して大山が壁に写されると、皆が歓声をあげていました。

そして、撮影会の地である鳥取砂丘に移動。

翌朝は日の出前に砂丘に到着し、早朝 5 時から撮影会を開始しました。早朝の海風で肌寒い中でしたが、陽が高くなって行く中での風景の変化を感じながら、それぞれが思い思いの撮影を行いました。

一旦宿に戻り、チェックアウトをしたあとは快晴の青空のもと、白く広がる砂丘で、持参した小道具をモデルとする学友に持たせ、ポーズを指示するなど、早朝とは違

う演出を試しながらの撮影を行いました。

鳥取での学習会の後は、参加者が撮影した写真をネットワーク上でシェアして意見交換をするだけに留まらず、参加者が「ベストショット」と思う写真を空デ関係者へ公開しての人気投票を 7 月 22 日まで開催中です。

また、写真学習会の第二弾として、8 月 22 日に瓜生山キャンパスで「日常の空間を魅力的にきりとる」というテーマで学習会を開催することです。その際には、写真コース教員で写真家の勝又公仁彦先生が講評で参加される予定とか。人気投票と 8 月 22 日の学習会については、サイバーキャンパスのコースサイトに告知されていますので、ご確認ください。

2015年度新入生ガイダンス／空間演出デザイン概論

今年度の新入生を迎えた新入生ガイダンスが京都、東京でそれぞれ二回ずつ開催されました。

今年度の空デ新入生は 87 名とのことですが、東京で開催された際には、4 月に 27 名、5 月に 8 名の新入生が参加されました。コース専任教員である川合先生（空デコース主任）、上田先生、田村先生(4月開催時のみ)からの教員・スタッフの紹介やコース概要、学習の進め方などが説明があり、参加者は熱心にメモを取りながら話を聞いていました。

コース概要の説明では、空間も物も人が居るから成り立つものであり、空間や物に限らずデザインすることは人の喜びに繋がらなければならないという考えを元に空デコースでは 2009 年くらいから、もてなしの気持ちを大切にしたデザインをしているとことが述べられました。

学習の進め方として、1 年次入学生、および 3 年次編入学生の履修参考例の説明もあり、各自どのようなスケジュール感で進めて行けば良いかを認識出来たようです。

新入生ガイダンスに引き続いて行われた「空間演出デザイン概論」では、前年まで行っていたドリル演習ではなく、グループワークが行われ、初めて顔を合わせた学友とのコミュニケーションを高めていました。



卒業生受賞報告



コニカミノルタ株式会社が主催する「ソーシャルデザインアワード 2015」において、「アート部門」15 点、「プロダクト部門」14 点の入選作品に、2014 年度卒業生の岡本正人さんの作品がプロダクト部門の入選作品として選出されました。

このアワードは、「社会をより良いものにするアート・デザイン・アイデア」を広く募集するコンペティションとのことで、2014 年度の卒業制作作品でもある岡本さんの作品「癒し紙」は、「日本人の優しさや、助け合いの精神を日本の文化で伝え、役立てようとしている贈り物」(審査コメントより引用) という点で審査員に評価されたようです。

岡本さんの作品を含む入選作品は、2015 年 5 月 31 日から 6 月 22 日までの期間、東京新宿のコニカミノルタプラザ・ギャラリー B&C で展示され、空デ教員もその様子を観に足を運んできました。

http://www.konicaminolta.jp/plaza/social-design-award_2015/

空楽々 編集室

Kurara Editor's Room

8 月はギャラリー・オーブで「第 6 回京都造形芸術大学通信教育過程 卒業生・修了生全国公募展」が開催されます。今年のテーマは「満眼聞声 満耳見色」。空デ卒業生の出展作品があるのか、乞うご期待！

■公募展会期：2015 年 8 月 9 日（日）～8 月 22 日（土） 11:00 ～ 18:00

また、在校生・卒業生・教員を交えた「瓜生山懇親会」も開催します。当日飛び入り参加も可能ですが、出来れば事前申込をお願いします。詳細は『雲母』7 月号を確認してください。

■開催日時：2015 年 8 月 22 日（土） 18:00 ～ 19:00

■会場：ギャラリー・オーブ前の吹き抜けスペース（瓜生山キャンパス）

■会費：無料

KUDEオープンゼミ



オープンゼミでは、履修方法やテキスト科目その他なんでも相談受け付けています。気軽に相談に来てください。

■京都

日時：7 月 11 日（土）18:00 ～ 19:00

9 月 26 日（土）17:00 ～ 19:00

会場：瓜生山キャンパス人間館 1 階ラウンジ

担当教員：上田篤、他（予定）

■東京

日時：7 月 18 日（土）17:00 ～ 19:00

9 月 26 日（土）17:00 ～ 19:00

会場：東京外苑キャンパス 1 階エントランスホール

担当教員：川合健太、他（予定）

※事前申し込みは不要です。参加希望者は時間内に直接会場へお越しください。なお、8 月は「超初心者向け PC 講習会」内で開催します。

※8 月は「超初心者向け PC 講習会・大学学習相談会（8/15 京都、8/16 東京）」内で開催します。

超初心者向けPC講習会



8 月に京都、東京で超初心者向けの PC 講習会を開催します。Adobe Illustrator の基礎的な操作での制作作業に取り組んで頂きます。また、PC 操作以外の学習相談も受け付けます。

■京都

日時：8 月 15 日（土）13:00 ～ 17:00

会場：瓜生山キャンパス人間館 NA012PC 教室

担当教員：上田篤、出口春菜、寺尾文秀、他（予定）

■東京

日時：8 月 16 日（日）13:00 ～ 17:00

会場：東京外苑キャンパス 209PC 教室

担当教員：川合健太、岡野寿樹、他（予定）

※事前申し込みは不要です。

※PC 講習会に参加される方は「学内 LAN 利用アカウント」を持参してください。

金星夜会

毎月第 2 金曜日の夜に大阪サテライトキャンパスで開催している金星夜会ですが、8 月 14 日の第 41 回目は（満を持して）通信教育部長で空間演出デザインコース教員である上田先生が登場します。

お題はズバリ「（俺と）岸和田だんじり祭」!!

岸和田＝だんじり＝激しさというイメージに潜む真実を上田先生が熱弁します。岸和田だんじり祭りの一ヶ月前となりますので、ここで予習して皆で本番に足を運びましょう!!

【日 時】8 月 14 日（金）18:30 ～ 20:00

【場 所】大阪サテライトキャンパス（大阪富国生命ビル 5F）

【参加費】1,000 円（フリードリンク付）



もてなし時間

自己のペース配分を知る

今年度も早くも三ヶ月が過ぎました。新入生もドリル課題の着手や六月の「フィールドワーク」スクーリング、「空間演出デザイン概論」課題の提出など、初めての経験を経て、本格的な学生生活に突入しているかと思えます。学習時間の作り方やペース配分などが未だ掴めていないという方もおられるかもしれませんが、自分なりの学習の進め方が判ってきたら、あとはそれを継続して行くことが重要です。

また、最短の二年間での卒業を目指している三次編入の方々、当初の計画通りに進めているか、予定と実績をしっかりと管理し、予定通りに進んでいない場合には、どうリカバーするかを再計画することも忘れてはいけません。勿論、仕事が多忙となつて、学習時間が作れないなど、状況が大きく変化する局面も出てくると思いますので、その際には優先順位を考えながら計画を見直しましょう。無理な計画は長続きしないですから、その辺りの注意も必要です。いづれにしろ、学習の進め方はその人それぞれだと思いますので、早めにそれを確立しましょう。

卒業制作着手生の方々は、前期の卒業制作スクーリングが終了し、一〇月からの後期開催に向けた準備の真っ最中だと思います。

テーマプレゼンテーションで決まったテーマを具体化させるための構想に留まらず、手を動かして試作を重ねて行くことも重要です。卒業制作以外のテキスト課題やスクーリングとの並行作業となる方も多いと思いますが、提出期限が決まっているテキスト課題もありますので、締め切りを忘れないように気をつけましょう。

ところで、五月末に静岡県・クレマチスの丘にある、ヴァンジ彫刻庭園美術館へ「クリステイアーネ・レーア 宙をつつむ」展を観に行ってきました。レーアは、タンポポやアザミなどの植物の茎や馬の毛などの素材を採集して「空間に生成するかたち」に拘った作品をつくっている作家です。写真のような繊細な作品で、空間のなかで主張する作品ではないですが、それが逆に独特の空間世界を作り出していました。この展覧会は、八月末まで開催中です。